No.40-71990A-W7200

CARMATE

TEシリーズ 取付マニュアル

本体ユニット名
MB-B

TEシリーズ（以降本製品と記述）の取り付けには、車両部品の取り外しや加工が必要になります。
本紙に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

⚠危険

適合が明記されている車種以外には取り付けできません。
適合車種は、店頭の車種別ハーネス適合表でご確認ください。

マニュアル車へ取り付けることは、絶対にしないでください。マニュアル車は、冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐため、パーキングブレーキをかけずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れて駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。
その状態でエンジンスターターを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ大事故につながります。

●マニュアル車には、取り付けできません。

●外車・特種用途自動車には、取り付けできません。



●エンジン始動時に下記のような場合には、取り付けできません。

アクセル操作が必要な車



年間を通じて、キーを回して2秒程度でエンジンのかからない車

●雨滴感応ワイパー装着車には、取り付けできません。
取り付けすると車両故障の原因となります。

⚠**注意** 本製品およびオプション・アダプター類の取り付けには、車両電装に関する専門知識が必要です。車両への取り付けは、お買い求めの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。

⚠**注意** 配線作業時は、車両バッテリーのマイナス端子を外してください。
バッテリーを接続したまま作業を行うと、コードをカシメる際やコードの接続時に工具が車体金属部分に触れてショートする恐れがあります。

⚠**注意** 本製品をしまい込む際は、次の点に充分注意してください。
・チルトステアリングやコラムシフトを可動した時に、ハーネスの噛み込みが起こらないこと。
・ブレーキペダルやアクセルペダルの操作に本製品が干渉しないこと。

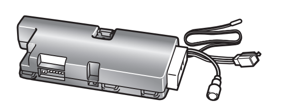
⚠**注意** あまったコード類はショートを防ぐため、必ず絶縁処理してください。
また、ワンタッチコネクターやハーネスなどの接続部分には、必ず絶縁テープを巻いてください。

参考 本製品を他の車両に取り付け直すときは ､本体に記憶されているP/N検出データを消去する必要があります。その場合は設定スイッチ2を一旦「フットブレーキ検出」にしてP/N検出データを消去してください。

⚠**注意** OBDⅡコネクターから車両と通信を行う機器とは併用しないでください。誤作動の原因となります。

付属品一覧

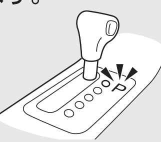
・リモコン 1個
・本体（メインユニット）1個



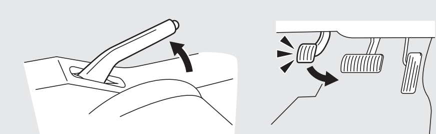
・ワンタッチコネクター 1個
・危険シール 1枚
・結束バンド(大) 1本
・結束バンド(小) 2本

配線のしかた （ドアロック配線の方法は裏面をご覧ください）

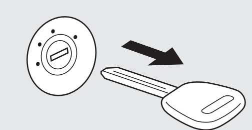
1 車両が次の状態になっていることを確認します。



セレクトレバーがパーキング（Pレンジ）に入っている



（サイド式）　　（フット式）
パーキングブレーキがかけられている



キーが抜かれている
（スマートキー装着車は､イグニッションスイッチが「OFF」になっている）

2 アンダーダッシュを外して､本体の取り付け位置を仮決めします。

本体はアンダーダッシュ内に取り付けます。
運転を妨げないか注意して､おおまかな取り付け位置を決めます。

参考 まだ固定しないでください。

メモ 場所決めのポイント

・しっかり固定できますか?
・車種別専用ハーネスの長さは足りますか？
（ハーネスが本体に届かないときは､別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してください。）
・本体の設定スイッチは切り替えやすいですか?
・本体のアンテナ部分が車両の金属部分（ボディやコード類など）から5cm以上､離れていますか?

3 車両のキーシリンダーのコネクターを抜き､車種別専用ハーネス（別売）をしっかり接続します。



⚠**注意** 必ず正しいキーコネクターに接続してください。誤った場所に取り付けると､車両故障の原因になります。

メモ キーコネクターとは､「キーシリンダー裏から出ているコネクター」または「キーシリンダー裏から出ているコードにつながっているコネクター」です。

メモ 本体を接続していないと､キーでエンジンをかけられません。

メモ 配線場所は車によって異なります。詳しい配線場所については当社ホームページから車種別ピットマニュアル（取り付け情報）をご確認ください。

4 アースコード（黒）を､車両の金属部分を固定している無塗装のボルトに共締めします。

⚠**注意**
アースが不完全のときは動作不良の恐れがあります。
アースは正しく取り付けてください。

⚠**注意**
オーディオやナビゲーションなど､他の電装品と同じボルトにアースを取り付けないでください。
機器が誤作動したり､オーディオのメモリーが消失する恐れがあります。

5 純正イモビライザー装着車の場合は､イモビ付車対応アダプター（別売）を取り付けます。

メモ 純正セキュリティ対応アダプターや､キー検出制御アダプターが必要な車種の場合も､それぞれアダプターを取り付けてください。

メモ イモビ付車対応アダプターの取り付けや設定の詳細はイモビ付車対応アダプターの取扱説明書を参照してください。

メモ 次のアダプターを接続する場合は､下記のように本体の設定スイッチ7を切替えてください。
本体設定スイッチ7（OP端子出力）の設定対象アダプター（2014年9月現在）
・TE413　・TE417　・TE420　・TE422

	スイッチ7（OP端子出力）
下記以外のアダプター	OFF（A）
TE413/417（※）/420/422	ON（B）

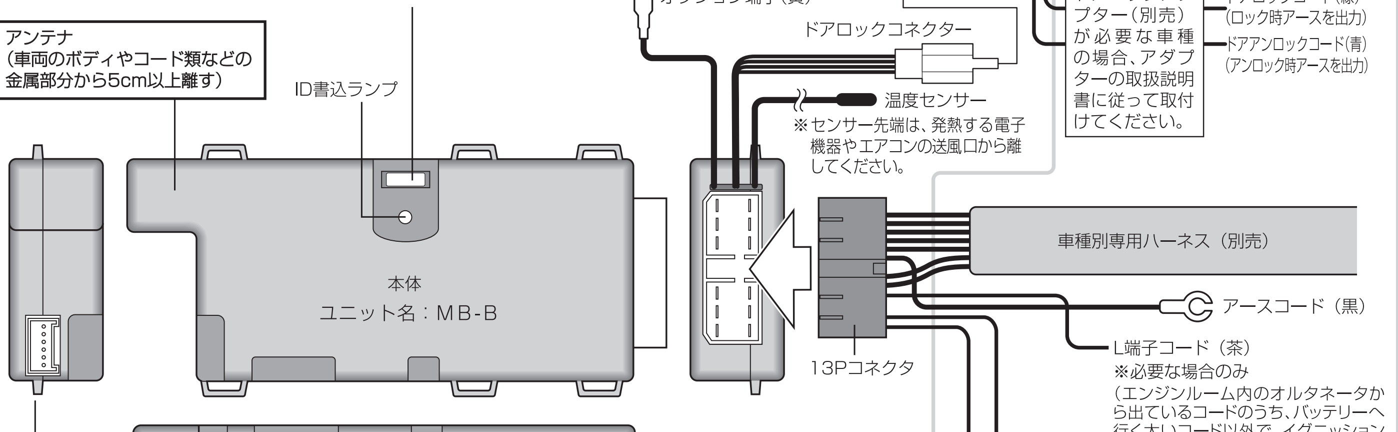
※TE417とイモビ付車対応アダプターを併用する場合は､ON（B）に設定してください。

6 13Pコネクターを本体にしっかり差し込みます。

メモ ハーネスが本体に届かないときは､別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してください。

⚠**注意**

配線には付属のワンタッチコネクターをご使用ください。付属のワンタッチコネクターは線径が細い配線にも対応しています。他のワンタッチコネクターを使用した場合､導通不良となることがあります。



（エンジンルーム内のオルタネータから出ているコードのうち､バッテリーへ行く太いコード以外で､イグニッションON時に約+2V以下の電圧で､エンジン始動後に+12Vが出るコードへ）

フットブレーキ検出コード（紫）
※P/N検出の場合は不要

サイドブレーキ検出コード（橙）
※必要な場合のみ

13Pコネクターへの L端子コードおよびサイドブレーキ検出コードの取付方法は裏面「ハーネスの各種コード差し込み位置」をご覧ください。

エンジンスターター拡張コネクター(6P)　設定スイッチ　P/N検出モード切替スイッチ

ハーネスの取り付けが完了したら､裏面を参照して動作確認と本体の設定を行ってください。(ドアロック配線を行う場合も裏面参照)

動作確認と本体の設定

車両の特性や使用環境に合わせて本体の設定をする必要があります。また、ドアロック配線を行う場合は、**8**～**9**の作業を行ってください。

1 P/N検出が可能か確認します。

参考 本製品を他の車に取り付け直すときは、P/N検出データを消去する必要があります。その場合は本体の設定スイッチ2を一旦上側（「フットブレーキ検出」）にしてP/N検出データを消去した後、再び下側（「P/N検出」）へ戻し、設定し直してください。

1）車に乗ります。

2）セレクトレバーを「P」にしてキーを抜きます。

3）本製品のリモコンでエンジンをかけます。

エンジンが掛かる場合
P/N検出データが設定済みか、フットブレーキ検出に設定済みです。このまま使用してください。

本体から音が出る場合
「ピー･ピー･ピー･ピー、ピー･ピー･ピー･ピー」と鳴ったときは、手順4）に進んでください。
他の音が鳴ったときは、取扱説明書の「エラー表示一覧」を参照して対処してください。

4）20秒以内にイグニッションを「ON」（メーターパネルが点灯する位置）にします。
20秒以内に操作できなかったときは、手順2）からやり直してください。

操作後、しばらくしてから本体が「ピ･ピ･ピ･ピー、ピ･ピ･ピ･ピー」と鳴ったとき
車種別専用ハーネスの品番および、車種別専用ハーネス取り付け状態を確認してください。

操作してすぐに本体が「ピー」と鳴ったとき
手順5）へ進んでください。

5）20秒以内にブレーキを踏みながらセレクトレバーを「D」または「R」にします。
20秒以内に操作できなかったときは、手順2）からやり直してください。

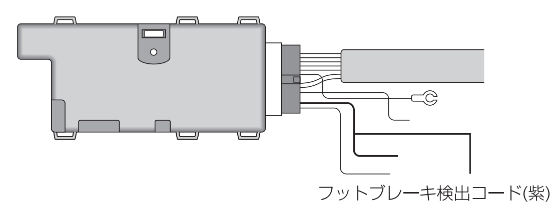
本体が「ピ･ピ･ピ･ピー、ピ･ピ･ピ･ピー」と鳴ったとき
取扱説明書の「P/N検出時のST1/ST2切り替え」を参照して、ST1とST2を切り替えてください。その後、もう一度手順2）からやり直してください。
ST1とST2のどちらでも設定できない場合は、車両がP/N検出に対応していません。手順**2**～**3**を参照し、フットブレーキ配線と設定を行ってください。

本体が「ピー」と鳴ったとき
手順6）へ進んでください。

6）セレクトレバーを「P」に戻してキーを抜きます。
これでP/N検出データの設定は完了です。

2 車両がP/N検出に対応していない場合は、付属のワンタッチコネクターで、フットブレーキ検出コード(紫)を車両の次のコードに取り付けます。

参考 配線場所はピットマニュアル参照



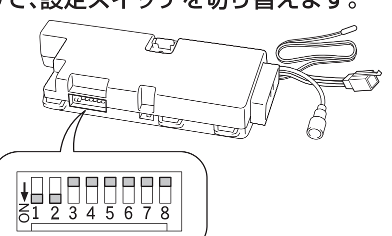
メモ **1** でP/N検出が設定できた場合はこの作業は不要です。

車両純正装備のストップランプが白熱球の車の場合、LEDストップランプへ交換すると、フットブレーキ検出機能が使用できないことがあります。

3 フットブレーキ検出コード(紫)を取り付けた場合は、設定スイッチ2「フット/PN切替」を「フット(上側)」にします。

メモ **1** でP/N検出が設定できた場合はこの作業は不要です。

4 用途に応じて、設定スイッチを切り替えます。



設定スイッチ

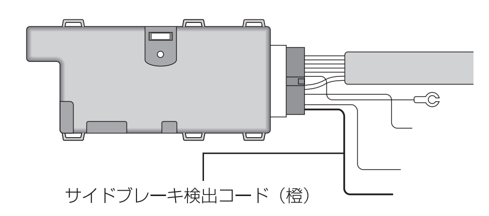
スイッチNo.	機能	OFF	ON
1	パーキングブレーキ検出	検出する	検出しない
2	フット/PN切替	フット	P/N
3	IG2制御	通常	特殊
4	L端子配線	なし	あり
5	（使用しません）	-	-
6	グロータイム	8秒	5秒
7	OP端子出力	A	B
8	ID書込	通常	書込

▒▒ は工場出荷時設定です。

メモ 詳しい設定内容は、取扱説明書の「取り付け時の設定」を参照してください。

5 必要に応じて、市販のワンタッチコネクターで、サイドブレーキ検出コード（橙）を車両の次のコードに取り付けます。

参考 配線場所はピットマニュアル参照



メモ 寒冷地などでパーキング（サイド）ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

6 サイドブレーキ検出コード(橙)を取り付けた場合は、設定スイッチ1「パーキングブレーキ検出」を「検出する(上側)」にします。

メモ 寒冷地などでパーキング（サイド）ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

7 動作を確認します。

1）車両のセレクトレバーを「P」にします。

2）イグニッションをOFFにし、パーキング（サイド）ブレーキをかけます。
スマートキー装着車は、純正スマートキーを車から離れた場所に移動させます。

3）リモコンでエンジンをかけ、エンジンが正常に始動するか確認します。
エンジンがかからないときは、取扱説明書の「スターターでエンジンがかからないとき」を参照して対処してください。

8 ドアロック機能を使用するときは、車両のドアロックの制御方式に応じて配線します。

⚠注意 車種によってはドアロック機能が使用できないことがあります。当社ホームページや店頭の車種別ハーネス適合表で確認してください。適合しない車両に配線すると、車両故障や不具合の原因になります。

マイナス制御の車（TE202適合車種）の場合

1）別売のドアロックコード（TE202）の緑コードと青コードを車両に取り付けます。

参考 配線場所はピットマニュアル参照

2）本体のドアロックコネクターのカバーを外し、ドアロックコードのコネクタをしっかり差し込みます。

マイナス制御以外の車の場合
当社ホームページや店頭の車種別ハーネス適合表を参照して、指定されたドアロックアダプターを使用してください。

⚠注意 マイナス制御以外のアダプターを取り付ける場合は、取付方法が特殊です。必ずアダプター付属の取扱説明書とピットマニュアルを参照し、記載されている方法で配線してください。

9 ドアロック配線を行った場合は車両のドアをすべて閉めて、ドアロック機能の動作を確認します。

10 本体を付属の結束バンド(大)でアンダーダッシュ内にしっかりと固定し、余ったコード類を付属の結束バンド(小)で運転の妨げにならないように束ねます。

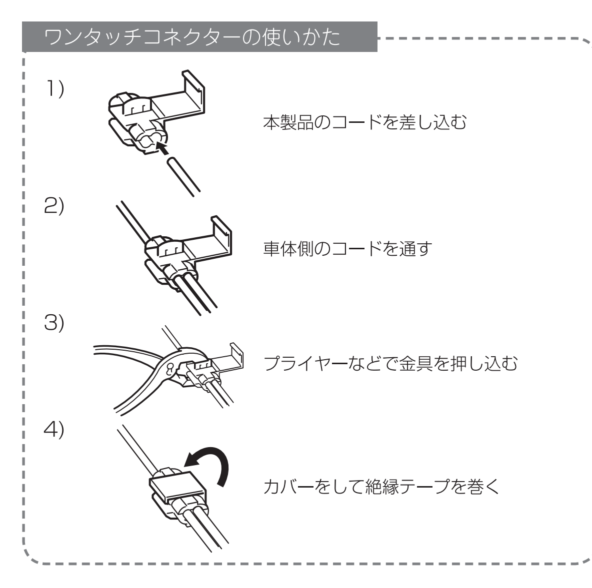
11 付属の危険シールを、エンジンルーム内の目立つところに貼り付けます。

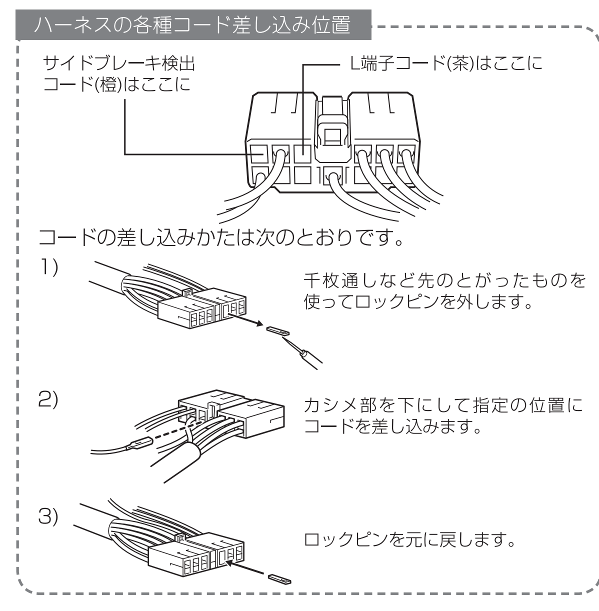


これで本体の取り付けと設定は完了です。

参考

車種別ピットマニュアル(取り付け情報)もご覧ください。
ピットマニュアルの参照方法は、当社ホームページや店頭の車種別ハーネス適合表をご覧ください。
ただし、ピットマニュアルが用意されていない車種もございます。また、ピットマニュアルはオプションなどすべての配線を網羅するものではありませんので、あらかじめご了承ください。





取り付けに関するお問い合わせ先
カーメイトサービスセンター
Tel:(03)5926-1216(代表)
Fax:(03)5926-1218